

## 平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月4日  
上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社ノリタケカンパニーリミテド  
 コード番号 5331 URL <http://www.noritake.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小倉 忠  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 中村 吉雅 TEL 052-561-7116  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	28,209	8.8	1,062	164.1	1,600	91.2	1,379	251.6
29年3月期第1四半期	25,938	△3.1	402	△34.3	836	△18.3	392	△52.7

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 1,564百万円 (ー%) 29年3月期第1四半期 △1,115百万円 (ー%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	96.11	ー
29年3月期第1四半期	27.33	ー

※平成28年10月1日付で普通株式10株を1株に株式併合しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	143,240	88,184	59.3	5,915.20
29年3月期	142,362	87,125	59.0	5,846.51

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 84,922百万円 29年3月期 83,928百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	ー	3.00	ー	30.00	ー
30年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
30年3月期(予想)	ー	30.00	ー	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

※平成28年10月1日付で普通株式10株を1株に株式併合しております。平成29年3月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は、「ー」として記載しております。株式併合後の基準で換算した平成29年3月期の1株当たり年間配当額は60円となります。

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	55,000	3.0	1,400	26.9	2,200	19.1	1,800	86.4	125.38
通期	111,000	2.0	3,200	2.6	4,800	△1.3	14,000	240.8	975.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	15,842,849株	29年3月期	15,842,849株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	1,486,180株	29年3月期	1,487,548株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	14,356,012株	29年3月期1Q	14,358,438株

※平成28年10月1日付で普通株式10株を1株に株式併合しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現状で判断する一定の前提に基づいており、今後発生する状況の変化によっては実際の業績と異なる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件その他関連する事項につきましては、【添付資料】2ページ

1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の売上高は282億9百万円（前年同期比8.8%増加）、営業利益は10億62百万円（前年同期比164.1%増加）、経常利益は16億0百万円（前年同期比91.2%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億79百万円（前年同期比251.6%増加）となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

#### (工業機材)

国内は、主要顧客の生産動向の回復基調が続き、自動車、鉄鋼、ベアリング、電子半導体向けを中心に伸長しました。海外は、米国は低調でしたが、中国では鉄鋼や自動車向けの販売が引き続き好調で、東南アジア、欧州においても堅調に推移しました。日本レヂボンは、アジア向けが厳しい中、国内、中東・中米向けが増加しました。その結果、工業機材事業の売上高は、147億5百万円（前年同期比4.6%増加）、営業利益は4億16百万円（前年同期比322.7%増加）となりました。

#### (セラミック・マテリアル)

電子ペーストは、国内のMLCC用が増加しました。厚膜回路基板及び石膏は国内が不振で、減少しました。セラミックコアは新規の受注が増加し、触媒担体は海外向けが大幅に伸長しました。蛍光表示管は、主力の海外市場が低調に終わりました。共立マテリアルは、電子部材、セラミック原料ともに堅調に推移しました。その結果、セラミック・マテリアル事業の売上高は、76億41百万円（前年同期比11.4%増加）、営業利益は6億14百万円（前年同期比49.4%増加）となりました。

#### (エンジニアリング)

主力の乾燥炉及び焼成炉は、電子部品やリチウムイオン電池向けが好調でした。濾過装置はベアリング及び工作機械向けが好調で、混合攪拌装置の不振を補いました。超硬丸鋸切断機は国内外ともに堅調に推移しました。その結果、エンジニアリング事業の売上高は、37億60百万円（前年同期比33.0%増加）、営業利益は2億77百万円（前年同期比123.8%増加）となりました。

#### (食器)

国内市場は、近年取組みを強化している法人向けが好調でしたが、ホテル・レストランやエアライン向けの減少が大きく影響し、低調に終わりました。海外市場は、米国は総じて堅調に推移し、欧州はロシア向けやエアライン向けが好調でしたが、中国、韓国、台湾などアジアの主力市場での落ち込みが大きく、全体では微減となりました。その結果、食器事業の売上高は、21億1百万円（前年同期比4.0%減少）、2億46百万円の営業損失となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、売上高の増加に伴い電子記録債権が増加したことから、前連結会計年度末に比べ8億78百万円増加し、1,432億40百万円となりました。

負債は、短期借入金が増加したことから、前連結会計年度末に比べ1億80百万円減少し、550億55百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べ10億59百万円増加し、881億84百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は平成29年5月11日発表の見直しを変更しておりません。業績予想に修正が必要となった場合には速やかに開示する予定です。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,275	10,932
受取手形及び売掛金	27,286	26,907
電子記録債権	3,067	4,163
商品及び製品	8,013	8,306
仕掛品	4,617	4,902
原材料及び貯蔵品	4,423	4,261
その他	2,552	2,975
貸倒引当金	△26	△21
流動資産合計	61,210	62,428
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,240	17,050
その他(純額)	26,387	25,682
有形固定資産合計	43,628	42,733
無形固定資産		
	1,068	1,032
投資その他の資産		
投資有価証券	33,539	34,099
退職給付に係る資産	1,935	1,973
その他	1,103	1,095
貸倒引当金	△122	△123
投資その他の資産合計	36,455	37,045
固定資産合計	81,152	80,812
資産合計	142,362	143,240
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,215	9,438
電子記録債務	5,395	5,085
短期借入金	9,671	8,641
1年内返済予定の長期借入金	445	441
未払法人税等	804	294
引当金	1,504	416
設備関係支払手形	141	178
営業外電子記録債務	1,442	1,427
その他	3,962	6,584
流動負債合計	32,583	32,508
固定負債		
長期借入金	13,018	12,920
引当金	272	219
退職給付に係る負債	1,917	1,902
その他	7,444	7,504
固定負債合計	22,652	22,547
負債合計	55,236	55,055

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,632	15,632
資本剰余金	18,783	18,783
利益剰余金	42,417	43,359
自己株式	△3,891	△3,889
株主資本合計	72,941	73,885
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,982	13,299
為替換算調整勘定	△2,590	△2,979
退職給付に係る調整累計額	594	716
その他の包括利益累計額合計	10,986	11,036
非支配株主持分	3,197	3,262
純資産合計	87,125	88,184
負債純資産合計	142,362	143,240

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	25,938	28,209
売上原価	19,014	20,614
売上総利益	6,924	7,594
販売費及び一般管理費		
販売費	4,379	4,380
一般管理費	2,142	2,151
販売費及び一般管理費合計	6,521	6,532
営業利益	402	1,062
営業外収益		
受取利息	16	22
受取配当金	298	315
受取賃貸料	105	105
持分法による投資利益	126	118
その他	45	37
営業外収益合計	592	599
営業外費用		
支払利息	20	15
為替差損	71	0
固定資産賃貸費用	32	34
その他	32	10
営業外費用合計	157	61
経常利益	836	1,600
特別利益		
固定資産売却益	8	281
その他	—	0
特別利益合計	8	282
特別損失		
固定資産処分損	9	66
減損損失	—	69
関係会社整理損	69	—
その他	14	—
特別損失合計	94	135
税金等調整前四半期純利益	751	1,747
法人税、住民税及び事業税	183	231
法人税等調整額	111	2
法人税等合計	295	233
四半期純利益	455	1,513
非支配株主に帰属する四半期純利益	63	133
親会社株主に帰属する四半期純利益	392	1,379

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	455	1,513
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△708	317
為替換算調整勘定	△1,071	△392
退職給付に係る調整額	220	123
持分法適用会社に対する持分相当額	△11	1
その他の包括利益合計	△1,571	51
四半期包括利益	△1,115	1,564
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,086	1,429
非支配株主に係る四半期包括利益	△29	134



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・ マテリアル	エンジニア リング	食器	計
売上高					
外部顧客への売上高	14,064	6,858	2,827	2,188	25,938
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	98	411	123	△231	402

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益であります。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・ マテリアル	エンジニア リング	食器	計
売上高					
外部顧客への売上高	14,705	7,641	3,760	2,101	28,209
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	416	614	277	△246	1,062

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益であります。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「工業機材」及び「セラミック・マテリアル」セグメントにおいて、遊休状態にあり今後も使用の目途が立たない固定資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として「工業機材」で35万円、「セラミック・マテリアル」で34万円を計上いたしました。